朝日 NARASHINO
ならしの朝日
第894号
【毎月５日・20日発行＝朝日新聞のＡＳＡからお届けします】
平成30年8月20日

発行所
ならしの朝日新聞社
発行人　秋本　満
〒275-0026 習志野市谷津4-3-17
電　話　047(454)2355
ＦＡＸ　047(454)2357
編集・広告　習志野朝日株式会社

お求めはＡＳＡでどうぞ
朝日の本
あさひのほん

ゆっくりおやすみ、樹の下で
高橋源一郎著
定価1404円(税込み)

小学5年のミレイちゃんが、おばあちゃんの住む「さるすべりの館」で過ごす、ひと夏の物語。著者にとってはじめての、小学生から大人まで楽しめる長編小説。挿絵を担当する今日マチ子さんの絵も90点収録。

男子二中 女子四中 優勝飾る
中学総体　卓球競技

平成30年度習志野市中学校総合体育大会・卓球競技の部が7月21日と22日、東部体育館で開かれた。

団体戦は総当たりのリーグ戦で行われ、男子は三中、女子は四中が優勝を飾った。

団体戦優勝の男子三中の佐伯映音キャプテンは「新人戦3位、春季2位だった悔しさをバネにして、総体に向けて日々の練習をがんばってきました。その成果が今回の優勝につながってよかった。支えていただいたみなさん、一緒にがんばってきた部員たちには感謝の気持ちでいっぱいです。県大会でも悔いの残らないように全力でがんばりたい」、女子四中の加治屋凛香キャプテンは「先輩の団体戦優勝や総合優勝の後を継ぐことがプレッシャーにはなりましたが、団体ではあきらめかけていた優勝をつかみ取ることができました。市内5大会連続優勝は周りで支えてくれた仲間がいたからでした。本当にありがとうございました」と話した。

男子団体戦優勝の三中

女子団体戦優勝の四中

大会結果は次の通り。

【男子団体】
①三中（7勝）②東邦中（6勝1敗）③一中（4勝3敗）④四中（4勝3敗）⑤二中（3勝4敗）⑥六中⑦七中⑧五中

【女子団体】
①四中（3勝1敗）②二中（3勝1敗）③五中（2勝2敗）④東邦中⑤一中

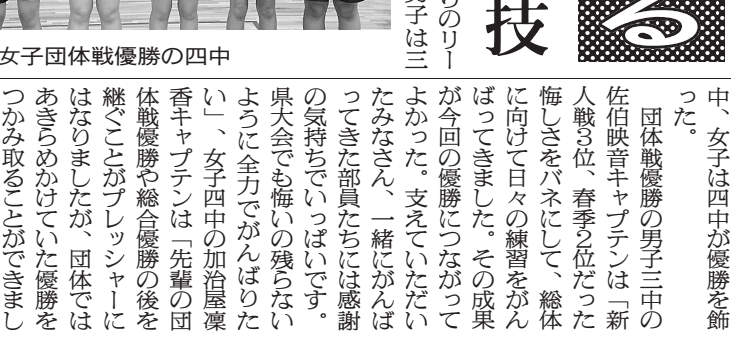
【男子シングルス】
①田島理久（六中）②田口凱大（東邦中）③横山優叶（三中）③秋池基輝（東邦中）⑤中村琉雅（一中）⑤小島眞一（二中）⑤今野紘（二中）⑤尾島啓太郎（東邦中）

【女子シングルス】
①加治屋凛香（四中）②佐藤朱梨（四中）③大和幸奈（二中）③小原彩花（二中）⑤濱田愛菜（五中）⑤淺原舞衣子（五中）⑤植村明日花（五中）⑤清水千尋（東邦中）

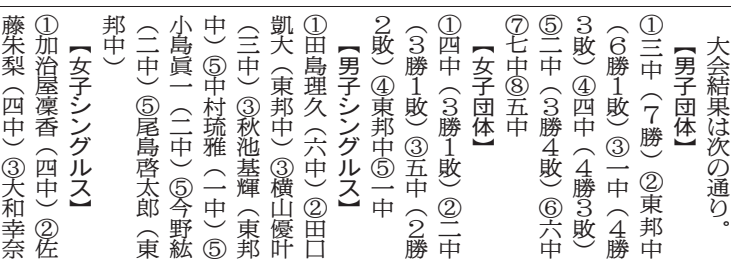
【男子ダブルス】
①佐藤琉聖・齋藤河玖（四中）②尾島啓太郎・山西佑吾（東邦中）③佐藤大地・碓氷大輝（四中）③川島佑介・澤田十兵衛（七中）

【女子ダブルス】
①片山美鈴・福田香奈（一中）②牛嶋律子・清水千尋（東邦中）③鞍橋芽依・赤羽琴光（一中）③淺原舞衣子・石井美咲（五中）

【総合】
①四中②東邦中③二中



男子個人戦のシングルスベスト８とダブルスベスト４



女子個人戦のシングルスベスト８とダブルスベスト４

谷津サザナミが連覇
少年野球ジュニア大会

第38回習志野市少年野球ジュニア大会が6月24日から7月7日まで、実花小学校ほかで開かれた。

大会には11チームが参加し、谷津サザナミが2年連続優勝を果たした。谷津サザナミは習志野市代表として、9月に開催される第24回千葉県低学年大会（ロッテ旗）に出場する。

大会結果は次の通り。

▽1回戦
向山ファイターズ　6―2　津田沼ベイドリームス連合
実花レジェンド　10―4　袖ケ浦ボーイズ
谷津サザナミ　18―3　大久保フロッグス

▽2回戦
向山ファイターズ　27―1　鷺沼マリーンズ
習志野フェニックス　7―6　ならしのフレンズ
藤崎シーレット　5―4　大東実籾連合
谷津サザナミ　30―4　実花レジェンド

▽準決勝戦
向山ファイターズ　9―7　習志野フェニックス
谷津サザナミ　9―8　藤崎シークレット

▽決勝戦
向山ファイターズ　000 511X 160
谷津サザナミ

▽バッテリー＝田中、松野、熊倉、市川、平林―織戸（向山）中村啓、磯村―石川、中村啓（サザナミ）

▽二塁打＝中村啓（サザナミ）

【後記】

決勝戦はともに接戦の準決勝戦を勝ち上がった向山ファイターズと谷津サザナミが対戦した。1回表、向山は2番織戸が内野安打で出塁するが無得点。1回裏、サザナミは死球の1番中村啓が盗塁で三塁に進み、捕逸でかえる。3番磯村の中前安打、4番石川の死球と盗塁で走者二、三塁に悪投球で1点。石川と四球の5番勝呂が、6番中村の右前安打でかえり、7番千原の四球、8番田内の内野ゴロの間にも1点加え、この回5点。2回表、向山は7番後藤が中前安打を放つが牽制死。2回裏のサザナミは、2番菊田が四球、磯村が中前安打、連続の三遊間安打、中村啓の二塁打もあり、この回一挙11点で勝利を決めた。

谷津サザナミの中村啓太キャプテンは「みんなで一つになって戦え、ヒットも多く出た。県大会では一つずつ勝っていきたい」と話した。

優勝の谷津サザナミ

準優勝の向山ファイターズ

千葉から感動伝える
世界女子ソフトボール

第16回ＷＢＳＣ世界女子ソフトボール選手権大会２０１８千葉が8月2日から12日まで県内4会場で開かれた。

大会は12回大会までは4年に一度、北京五輪後は2年ごと。日本では大阪市、富士宮市に次いで3度目の開催となった。

第一カッター球場（秋津野球場）では3日から予選リーグがスタートした。試合前の始球式にはソフトボールチームの小中学生がバッテリーやエスコート役を務め、米国のモニカ・アボット投手ら、強豪各国の選手が迫力あるプレーを見せた。7日には雨の中、日本対カナダ戦が行われ、日本代表は上野由岐子投手の完封で勝利した。

２大会ぶり4回目の優勝を目指す日本代表は予選リーグを全勝で通過。決勝トーナメントの準決勝戦では米国に3―4で惜敗したが、敗者復活戦を含むダブルスページシステムプレイオフの形式のため、3位決定戦に回り、上野投手がカナダを3―0と完封し、決勝戦に進み、再び米国と対戦した。7大会連続の対決は一進一退。日本代表は藤田倭選手の2本塁打などで6点を奪うが、延長10回の末、米国が7―6でサヨナラ勝ちし2連覇を果たし、日本代表は前回に続き準優勝となった。連日の猛暑、台風にも見舞われる中、11日間にわたる熱い戦いと感動が、千葉から世界に伝えられた。

――――――

【訂正】8月5日付1面「中学総体　陸上競技大会」の記事中、女子共通100㍍ハードルで1位「今村心愛」とあるのは「今村紅愛」さんの誤りでした。お詫びして訂正します。

本紙は下記の朝日新聞サービスアンカー（ASA）からお届けします

ASA津田沼東部
高萩新聞舗
電話 472-5953

ASA津　田　沼
長山新聞店
電話 472-1915

ASA津田沼南部
習志野朝日㈱
電話 452-4008

ASA習　志　野
松村新聞店
電話 451-2355

朝
発行日は毎月5日と20日の2回です。